

# アラビア語の二層性の現状と教授方法

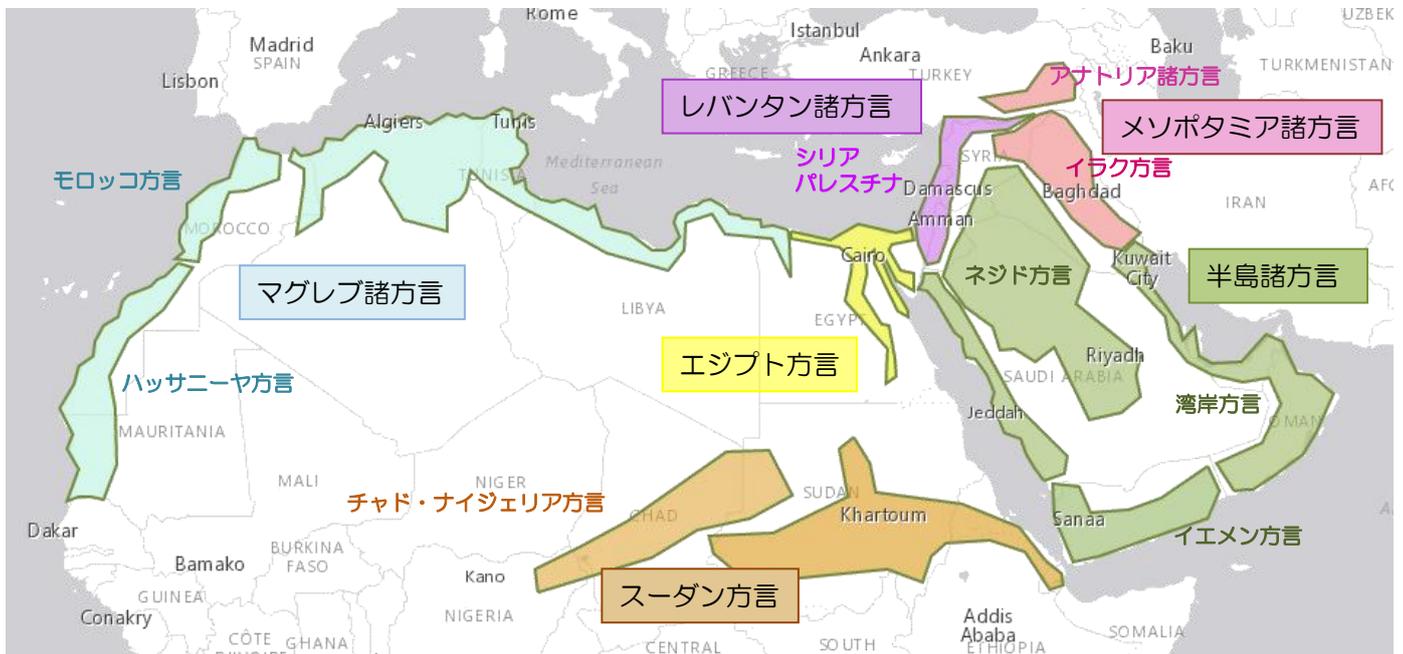
～ 二層性 (ダイグロシア) をどうとらえるか ～

長渡陽一 (東京外国語大学非常勤講師・特別研究員)

アラビア語教育は、実際には文章体の1層のみを教育しているのが主流ですが、会話体の習得なしには4技能の総合的コミュニケーションができません。会話体と文章体の使い分けは、その他の諸言語の状況、とくに日本語や朝鮮語の文体差とどう違うのか、両層は何が、どのくらい違うのかをデータ化し、二層性の現状を正しくとらえ、それを反映させた二層言語の総合的習得のための教授方法 (ダイグロシア教育) の構築を目指しています。

## 1. アラビア語のバラエティ

### 1.1. “横”のバラエティ (地域方言)



	どうですか?	とても元気です。	何飲みたいですか?	コーヒー飲みたいです。
マグリブ方言 モロッコ	a:f χba:rək?	mzja:n bəzza:f.	a:f b̄i:ti tʃrəb?	b̄i:t nəʃrəb qəhwa.
エジプト方言 カイロ	izzajjak?	kowajjes ʔawi.	ʕa:jiz teʃrab ʔe:ʔ	ʕa:jiz aʃrab ʔahwa.
レバント方言 シリア	ki:fak?	mni:h kti:r.	ʃu: bəddak tʃrab?	bəddi ʃrab ʔahwe.
メソポタミア方言 イラク	ʃlo:nek?	ze:n kullif.	ʃinu tri:d tiʃrab?	ari:d aʃrab qahwa
半島方言 サウジ	tʃe:fak?	wa:id ze:n	e:ʃ tabʁa taʃrab?	abʁa aʃrab qhawa.

### 1.2. “縦”のバラエティ (会話体と文章体)

	状態や如何に?	善にて。	何をか飲まんと欲すや?	珈琲を飲まんと欲す。
文章体	kaifa ha:luka?	biʔair.	ma:ða: turi:du ʔan taʃrab?	uri:du ʔan ʔaʃrab qahwatan.

文章体には、ネイティブがない。

## 2. 会話体と文章体の違い

### 2.1. 使われる領域の違い

長渡 (2014) の表 1 (CEFR の「テキストの種類」の項目を再編)

	会話体領域	文章体領域
音声言語	電話の会話 他人との間の対話や会話 娯楽 (ドラマ、ショー、朗読、歌) 講義 就職面接	公的なディベートや議論 スポーツ解説 (フットボール、クリケット、ボクシング、競馬など) 演説、プレゼンテーション、説教 公共放送や指示 儀式 (式、正式な宗教的ミサ) ニュース放送
文字言語	メモ 覚書とメッセージ 個人的な手紙 エッセイ	仕事や職業上の手紙やファックス 書籍 (フィクション、ノンフィクション、文学のジャーナルを含む) 使用説明書 (日曜大工、料理の本など) 雑誌、新聞、教科書、漫画、小冊子、内容見本、パンフレット、広告、看板、掲示、スーパーマーケット、店、屋台の看板 製品の包装やラベル、切符など、申込用紙と質問用紙、辞書 (一言語辞書、二言語辞書)、同義語辞典、練習問題、レポート、論文 データベース (ニュース、文学、一般的な情報など)

### 2.2. 語彙の違い

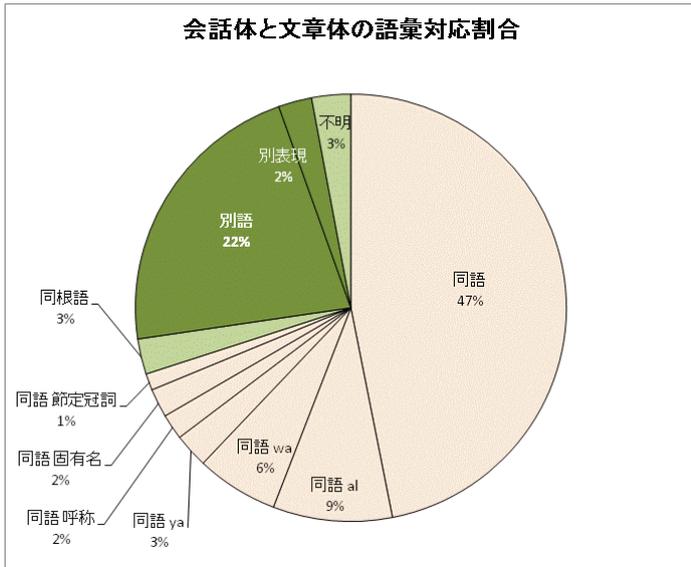
赤字：会話体に対応する文章体で語彙項目が異なるもの

映画『テロリズムとケバブ』より

靴磨き屋	ana jadu:b ja:ri l-maṭraḥ da 「やっとのことでこの場所を買ったんだ」 ana biṣuṣu:ba ṣtarajtu ha:ḍa l-maka:n I barely bought the-place this
	u da da:fiṣ fi:h taman girati:n ṭi:n. 「2坪の土地代を払った」 wa ha:ḍa: dafaṣtu fi:hi ḥamanan ---- arḍ and this payed for-it price 2-squares land
アハマド	tibi:ṣ ṭaraṭe:n fi bladkom Ṣaṣan ti:gi timsaḥ gizam fi maṣr? 「エジプトは靴を磨かせるのに土地を売るのか」 tabi:ṣu ---- fi: bila:dikum likak tadzi:? li tamsaḥ aḥḍija fi: miṣr? sells 2-squares in your-nation for you-come wipe shoeses in Egypt
靴磨き屋	gu:l ja ba:siṭ. sallimha lilla:h. ridʒlak et-tanija. 「怒りなさんな。反対の足を」 qul ja ba:siṭ. sallimha: lilla:h. ridʒluka l-uḡra: say hey Giver (怒るな). hand-over to God your-leg the-other
アハマド	ma teṣrafṣ el-usta:z midhat? 「ミドハトさんを知っているか?」 la: taṣrafu l-sajjid midhat? not your-know the-Mr. Midhat
靴磨き屋	el-usta:z midhat elli ṣaḥva:l ehne:ʔ 「ここで働いているミドハトさんか?」 al-sajjid midhat allaḍi: jaṣmal huna:ʔ the-Mr. Midhat the working here
アハマド	ajwa. 「そうだ」 naṣam. yes
靴磨き屋	aṣrafo. bilbas dzizam min bila:d barra 「知ってるよ。外国の靴を履いてる」 aṣrifuhu. jalbas aḥḍija min bila:d ḡa:ridʒa I-know-him wearing shoeses from contries outside
	u biḡa:f ṣale:ha min el-warni:ṣ maḥalli. 「国産のワックスを塗られるのが嫌なんだ」 wa jaḡa:f ṣalaiba: min al-ḡamṣ maḥalli: and be-afraid on-it from the-wax local

### 2.3. どのくらい違うのか

『テロリズムとケバブ』の冒頭 1000 単語 (長渡 2015 より)



### 2.4. 異同の判断の難しいもの

#### (1) 同源語 (cognate) 音韻的な違いのみ

	会話体	文章体
'price'	taman	θaman
'sells'	tibi:ʕ	tabi:ʕ
'Egypt'	maʕr	miʕr

#### (2) 同根語

	会話体	文章体
'here'	ehne:	huna:
'this'	da	ha:ða: (指示要素 ha:)
'the'	elli	allaði: (ダミー名詞 ði:)

#### (3) 文法的な違い 完了形、進行形は文章体にはない

	会話体	文章体
'bought'	ʃa:ri (完了形)	iʃtaraitu (過去形)
'payed'	da:fiʕ (完了形)	dafaʕtu (過去形)
'wearing'	bilbas (進行形)	yalbas (現在形)

#### (4) 文章体にも存在はするが使われない語

	会話体	文章体
'place'	maʕrah	maka:n
'sit'	ʔaʕad	dʒalasa ※上記文例外

#### (5) 意味シフト

	会話体	文章体
'other'	tanija	uʕra: (θa:nija 'second)
'Mr.'	usta:z	sajjid (usta:ð 'professor')

#### (6) 会話体ならではの表現 (上記の例文にはない)

「あのね」 *baʔullak e:* (私は君に何を言っているか?) 文章体 *ma:ða: aqu:lu laka?* は文字通りの意味。  
 「何でしょう」 *ʕe:r* (「善」) 文章体で *ʕair* は文字通りの意味。

## 3. 教授方法

## 3.1. 目指すべきもの

## (1) 使い分け

表2：使い分け能力評価基準（長渡 2014）

	使い分け
C2	C2 に記述されたことが、口語体と文語体を適切に使い分けて行なえる。 訛りもおおかた理解できる。
C1	ときおり、先に学習した方の要素が多くなるが、 <b>基本的には</b> 口語体と文語体を適切に使い分けられる。 特に聞きなれない訛りを、時々確認する必要がある。
B2	口語体も文語体もおおむね知識があり、口語体による日常の会話がある程度可能であり、また文語体で書くことができ、聴衆の前で話すときには公式に話そうとしていると感じさせるだけの文語体を入れることができる。0
B1	身近な話題についての会話は、発話は口語体、あるいは文語体に口語体を混合したものででき、もう一方で話されているものも、 <b>要点は聞き取れる。調べつつ</b> レポートなどを文語体で書ける。
A2	口頭であれ、書くことであれ発信は基本的に <b>どちらか一方</b> でできる。買い物、近所などで使われる <b>ごく基本的なやり取り</b> は口語体でできる。このレベルでの聞き取りや読み取りのために必要な文語体の知識がある。
A1	口語体と文語体をいづらか知ってはいるが、 <b>両層の使い分けはできない。</b>

## (2) 1つの地域でいいのではないか

文章体だけを勉強して全地域で使おうと考えるのは、ラテン語だけを学んでヨーロッパを旅するようなもの

## 3.2. 会話体が先か、文章体が先か、同時か

## (1) 文章体が先

- ・現実的に教材、辞書があり、教師の訓練もされている
- ・利点：権威がつく。読解をやらせられる。
- ・欠点：権威主義により文法が厳しくなる。

語彙選択の正誤の判断がしにくい。「座る」 dzalasa/qaʃada 「教師」 mudarris/muʃallim

どの時点で会話体へ行くのか？

## 文法の問題

- ・格変化は、会話で使わない（使うと笑われる、通じない）、文字上も現れない。→ 何のための格変化か。  
実際には、文法は格変化ばかりをやらせる場合が多い。

「今日、家で本を読んだ」

正式文章体	qaraʔtu	kita:ban	fi	l baiti	al jauma
略式文章体	qaraʔt	kita:b	fi	l bait	al jaum
会話体	ʔare:t	kta:b	bi	l be:t	le jo:m

(シリア)

## (2) 会話体が先

- ・現実に教材、辞書がない、教師の知識・認識不足
- ・利点：現地で使える。語学は会話から始めるのが効果的。語彙選択の正誤の判断が明確。
- ・欠点：権威がない。読めない。

## ナチュラルなベクトル

文章体を“崩し”ても会話体にならない

ネイティブは会話体を、文章体に“言いかえ”ている

(3) 同時

- ・まだ教授法が研究されていない。
- ・利点：一方に偏らない。 現実を反映している。
- ・欠点：覚えることが2倍

3.2.2. 学生の感想 (アンケート)

アラビア語A (副専攻1年目) 23名中

- 肯定的 13名…会話体に触れる機会があってよかった、ずいぶん違うと驚いたなど
- 否定的 8名…手一杯、ごちゃごちゃになるなど
- 無回答 2名

アラビア語B (副専攻2年目) 14名中

- 肯定的 13名…現地で使えるなど
- 否定的 0名
- 無回答 1名

ICU アラビア語1学期 (3か月) 25名中

- 同時に肯定的 7名
- どちらかが先 12名 (文章体 6名、会話体 5名、どちらでも 1名)
- 不明・無回答 6名

3.3. 今後の課題

(1) 目標を確認

- ・会話体と文章体の両方を習得 (ダイグロシア教育)
- ・その適切な使い分けを習得 (5技能の習得)

(2) 同時学習の教授方法の開発

- ・どうしたら混乱を防げるか
- ・教科書を作成、試行錯誤

(3) 使い分けを記述した両文体の総合辞書

(4) 使い分けの実態を記述 (何が、どの程度、どのように)

4. 参考文献

長渡陽一 (2015) 発表資料「ダイグロシア (二層言語) アラビア語の日常使用語彙中の文語体語彙について」 外国語教育学会

長渡陽一 (2014) 「言語内バリエーションの使い分け能力評価基準 –二層言語 (ダイグロシア) アラビア語からの提起–」『外国語教育研究 17』 112-126. 外国語教育学会。

Ferguson, Charles A. (1959). 'Diglossia', Word, 15: 325-40.

Versteegh, Kees (2014), The Arabic Language (2nd edition). Edinburgh U.P.

Wahba, Kassem M. ed.(2006), Handbook for Arabic Language Teaching Professionals in the 21st Century. London.

Younes, Munther (2006). Integrating the colloquial with Fuṣḥā in the Arabic-as-a-Foreign language classroom. in Handbook for Arabic language teaching professionals in the 21st century. Lawresnce Erlbaum Associates, Publishers.